

ハーモニープラザだより

発行：秋田県中央男女共同参画センター 電話：018-836-7853 <http://www.akita-kenmin.jp/c-center/>
〒010-0001 秋田市中通 2 丁目 3-8 アトリオンビル6F 指定管理団体・NPO 法人いきいき F ネット秋田 平成 25 年 7 月発行

平成 25 年度秋田県男女共同参画推進月間事業「私たちにできること」

vol.26



トークイベント 「ひとりじゃない」～今、話せること、話したいこと～

6月18日、東日本大震災で被災された方、秋田で支援活動をしている方々をお迎えして、「秋田大学発 FUKUSHIMA ころつなくプロジェクト」を主宰する望月一枝さん（秋田大学教育文化学部教授）を進行役に、それぞれの震災体験と現在の思いをうかがい、参加者全員で考え語り合うトークイベントがハーモニープラザオープンスペースで開催されました。

望月さんは、「3.11以降、日本社会に生きる私たちは、この大きな変化を前に、しあわせとは何か、このことはすべての人のためになるのだろうか、次の世代のためになるのだろうかを常に考えていかなければならない。また、今日のこの出会いのように、同時代に生き、共感できる人たちと出会う幸せを作り出しながら、もっとも命に近い女性が参画し、行動を起こすことが大事である。」と語りました。参加者40名一人一人が、震災を忘れることなく、今自分が「できること」をあらためて問い直す貴重な時間を持つことができました。

舘岡春香さん

塩釜市から実家のある秋田に母子避難をしている。避難しながらでも被災地に貢献できるような就労支援がほしい。『私たちを忘れないでほしい』とのメッセージは、未来のために国全体が『今の生活を見直してほしい』という意味であることをくみとってほしい。



小玉朋子さん

“Akitaコドモの森”代表。震災直後から支援活動を始めた。支援のかたちは、物資の提供支援、交流会の開催、未就園児を持つ避難親子の外遊びサークル、と変化してきた。現在は震災の経験をふまえ、子育て世代に防災講座等を開催している。行政・町内会の中核に女性の力を活用することや、支援を取りまとめる必要なところに届けられる日頃のコミュニケーションの構築、データ集積の必要性を痛感している。

小野由紀子さん

福島市から初めての土地で母子避難している。秋田では汚染を気にせず子どもが元気に外遊びできる喜びがあるが、夫や両親からは『福島に帰ってきてほしい』と言われる葛藤は続いている。自分たちのような悩みを抱える人のない国にしてほしい。



遠藤大輝さん

福島県浪江町出身で震災直後に秋田大学に進学する。現在教育文化学部3年に在籍。防護服を着ての一時帰宅はショックだった。被災者としてではなく、秋大生として岩手で支援活動もしたが、「今できること」として“ふくしまの集い”を立ち上げた。避難して来た小中学生の学習支援活動をしなから、震災を子どもたちに伝える事が大切だと考えている。大学生が社会に対して語れる場を増やしたい。

◆◆ 目次 ◆◆

- P1・平成 25 年度男女共同参画推進月間事業①
- P2・月間事業②、ハーモニーフェスタ 2013①
- P3・平成 25 年度第 1 回中央地域連携ネットワーク会議、エンパワメント講演会のお知らせ
ハーモニーフェスタ 2013②
- P4・相談室から
イキイキ男性変身サポート事業、お知らせ

チャリティーふろしきマーケット



月間テーマでもある「私にできること」。何かかたちに出来ないかと考えフリーマーケットを開催しました。

6月21、22日の両日、登録団体の皆さんやスタッフが集めた品々を、ふろしきをお店に見立て店開き。釜石市の被災者の方がゾウをデザインした「まけないぞう」も販売し大好評でした。

折り紙&手芸展示



6月17～30日、第4回目となる、折り紙教室受講生、センター利用の方々の作品展は、今年も情報スペースをはなやかに彩ってくれました。折り紙作品、パッチワークやモラ手芸・・・どれも力作ぞろいです。自分を表現することの素晴らしさが伝わる展示でした。



フリーマーケットの売上金と折り紙教室の皆さんの寄付金

合計 35,710 円は、秋田県内に避難されている方々に贈らせて頂きます。
ご協力を頂いた皆様に心から御礼いたします。



6/29
(土)

◆◆ハーモニーフェスタ2013開催

6月29日(土)、フォンテ6階にある国民文化祭サテライトセンターで、ハーモニーフェスタ2013が開催されました。この催しは、男女共同参画に関して広く理解と関心を深めるために、秋田県と人権啓発ネットワーク協議会が主催しています。今年度は、「私らしい幸せのかたち」をテーマに、当センター指定管理者であるNPO法人いきいきFネット秋田が実施をしました。

フェスタは、男鹿市で子育て中の親子サークル、ゴスペルクワイヤ・スマイルの歌声で幕を開けました。

第1部は、トークイベント「私らしい生き方」と題して、画家の相馬大作さん、わらび座の菊池冴さん、鍼灸師の関戸圭吾さんにお話をいただきました。

相馬さんは、自己実現の葛藤の中で、やりたいことをやれないのは境遇や他人のせいではなく、全部自分の責任であると気づいたことで今の自分があると語りました。憧れの画家となり、和紙作家であるパートナーとお互いに補い合いながら自立した関係でありたいと思っています。

わらび座で全国各地を歩き、秋田の魅力は芸能文化であると語る菊池さんは、大事なことは、夫婦や家族、友だちといい関係をつくり、地域と連携しながらそのコミュニティーの中で頑張ること。人間らしさの文化を伝えるわらび座こそが、自分の生き方であり使命であると力強く語りました。

自分の母親の介護を終え、これからの自分の人生を考えて、単身で妻の実家のあるにかほ市に移り住んだ関戸さんは、自分さえ楽しければいいのではなく、他人に何かしてあげて「有難う」と言ってもらえることで、自分が生きている実感がわくと言います。現在は、小学校で絵本の読み聞かせ活動をしています。

最後にファシリテーターの高田生子さん(サポーターの会会長)が、「男女がお互いに個々を尊重しながら楽しく生きていく方法を皆で学べるいい時間であったと思います。」と締めくくりました。その後に行われた参画クイズでも、男女共同参画について楽しく学び、考える時間が持てました。(3面下につづく)



＜開催報告＞

「平成25年度第1回 中央地域連携ネットワーク会議」

7月12日(金)／ハーモニープラザ研修室

今年度第1回目のネットワーク会議は中央地域のハーモニーネット団体、FF推進員、センター利用団体、市町等の行政担当職員、秋田県、中央センター、併せて22名が出席しました。秋田県男女共同参画課の中嶋課長より講話していただくなど、今年度の事業予定や最近の男女共同参画の推進状況などについて情報提供され、その後地域での推進状況や関連する事業、教育現場の様子等について、各グループで活発に意見交換がされました。今後の各地域の連携や今まで以上の男女共同参画の推進に役立てていただける内容であったと思います。次回は来年2月に開催を予定しています。



エンパワメント 講演会

●● お知らせ ●●●●

国連の現場から “女性が主役のまちづくり”

講師 佐藤摩利子さん
(秋田市出身)



国連ハビタット(人間居住計画)
バンコク事務所所長

「私たち一人一人の意識が社会を創ります。」アジアの国々で、“住民力”をいかしたコミュニティづくりに関わっている佐藤摩利子さんが、女性の視点を活用する大切さを現場の経験からお話します。

◆日時 平成25年8月10日(土)
午後2時～午後4時

◆場所 秋田ビューホテル 4F・飛翔の間

◆定員 100名(要申込、8/5まで)

※託児、先着5名まで(8/5まで、要申込)



第2部 これからも働き続けるあなたへ



ハーモニーフェスタ第2部では、株式会社ベレフェクト代表の太田彩子さんを講師に迎えて、「これからも働き続けるあなたへ」を開催しました。太田さんは、「営業部女子課」を主宰し、全国の営業女子を応援しています。

今回は、「私の“幸せのかたち”を考える」というテーマに沿って、ワークシートを使用し、太田さんとの対話や参加者同士の意見交換をしながら、参加者それぞれが「私なりの働き方」「幸せのかたち」を考え、表現しました。

太田さんは、ご自分が大切にしている幸せのかたち、「仕事」「家庭」「社会貢献」「自己投資」「趣味」の5つの意思を紹介しました。また、「今現在の私たち=BE は皆、「これまで積み上げてきた経験や実績、出会った人、学び=HAVE=キャリア」を持っています。幸せのかたちを考えるには、このキャリアを振り返り、未来のキャリアを描くことが必要です。しかし、とりわけ女性は結婚や出産などのライフイベントによってこの行動を制限されやすい状況にあることから、だからこそどんな状況でも自分の強みを活かすことで、必要とされる人間になり、強い意思=WILL を持ち、行動・努力=DO を継続してほしい」と語りました。

若くして母親となり、シングルで息子さんを育てながら、会社を経営し全国を飛び回る。難病患者支援のNPOを立ち上げ、たくさんの本を読み、山に登る太田さんは、翌日の鳥海山登山のために、スーツ姿に大きなリュックを背負って会場入りをされました。登山をするように一步一步未来キャリアを積み重ねていらした姿が深く印象に残りました。

ワークライフバランスと自分らしい幸せのかたちを実現されている太田さんが大事にしていることは、周囲への感謝を忘れず、賢く生きること。ひとりひとり皆違う幸せのかたちを持っていることを認め、その違いを受け入れ尊重するダイバーシティや、男女共同参画の考え方の重要性も強調されました。

参加者は「自分を分析し将来のビジョンを描くことの大切さをあらためて教えられた。」と語り、それぞれの幸せが輝くための大きなヒントをつかむ講演会になりました。





ハーモニー相談室 ~あなたらしい生き方を応援します~

＜相談室から＞当相談室は、次の事業を行っております。

①一般相談

私たちは毎日いろいろな体験をしながら生きています。一日として同じ時間はありません。その中でショッキングな出来事、理不尽なこと、思わぬ出来事に出会い、混乱し、動揺し、自分をどのように支えてよいか迷うことがあります。そんな時、女性相談員があなたの気持ちに寄り添い一緒に考えます。

【相談日時】月～土 10:00～17:00 ※託児あり（要予約）

電話、面談（面談は事前に予約が必要です。土曜日は電話相談のみ）

②法律相談（無料）

身の回りの法律的な様々な問題に弁護士が専門的なアドバイスをします。

【相談日時】8/6、10/1、12/3、2/4、3/4（当センター相談室にて）

9/3（平鹿地域振興局（横手保健所）） 13:00～15:00（一人30分程度）

面談（事前予約が必要です）

③グループワーク（後期分、要申込）

少数のメンバーとゆったりとした時間の中で自分の体験や感情、考え方について語り合いながら、「あるべき姿」を基準としない自分らしい生き方を考えてみませんか。

【開催日時】9/10、24・10/8、22・11/12、26・12/3、7（計8回）

10:30～12:30（ハーモニー相談室、アトリオン7F）

【相談室 専用直通電話】018-836-7846



【イキイキ男性変身サポート事業について】

佐藤 文子

新年度の事業として始まった「イキイキ男性変身サポート事業」も3ヶ月経ちました。この間は、イキイキ職場の活動のPRと、今年度の中央男女共同参画センター事業への理解を深めてもらうために、県内の企業を12社ほど訪問させて頂きました。

女性も男性もイキイキと働くことが出来るように、企業がそれぞれ工夫して、よりよい職場づくりに取り組んでいる様子や、貴重なお話をたくさん伺うことができた一方、秋田は少子高齢化が進んでおり、親の介護と仕事のバランスをどうとっていくかなど、今後の課題も浮かんできました。

女性の社会的・経済的な自立が進む中、男性も仕事中心に大きく偏っている生活を変え、家庭生活や地域活動へ参画していくことが求められています。今後は、男性が家事、子育て、介護等の実践的な活動に取り組む講座を開催し、交流や仲間づくりにつなげていきます。また阪神・淡路大震災や東日本大震災の体験をふまえて、災害時の性別役割分担意識の解消と地域防災のあり方をもう一度男女双方の視点から見直すべく、災害時における男女共同参画というテーマで事業に取り組みます。

なお、事業の第一回目として、9月14日（土）アルヴェ調理室で「男の料理教室」を開催することが決定しております。



お知らせ

お知らせ

☆☆女性チャレンジ支援講座開催予定☆☆

〈三日間連続講座〉

マイクロソフト認定講師による

Office2010 パソコンスキルアップ講座

Word、Excel、Powerpoint など、即戦力として役立つ知識を学びます。

日時：10月1日（火）～10月3日（木）

10:00～15:30

募集：パソコン技術が中級程度で、就業を希望する女性 15名

参加無料、要申込

●「県の記念日」関連事業として8月24日（土）、29日（木）

1階・研修室を無料開放いたします。

講座、ワークショップ、会合などの活動にご利用下さい。但し、事前に予約が必要です。

※空き状況についてはセンターにご確認ください。

★8月の予定★

大人の折り紙教室 8日（木）、22日（木）

ちびママ広場 26日（月）

●9月8日（日）は、アトリオンビルの休館に伴い、センターも休館となりますので、ご了承ください。

講座等に関するお問合せ、申込みはセンターまで

電話：018-836-7853 FAX:018-836-7854